

*ソーシャルワーク演習(通山)

| | | | | | | | | | | | |
|------------------------|--|------|--------------------------|------|-----------|------|----|-----|---|-------------|----------|
| 授業科目 | *ソーシャルワーク演習(通山) | | | | 実務家教員担当科目 | ○ | | | | | |
| 単位 | 1 | 履修 | 必修 | 開講年次 | 1 | 開講時期 | 後期 | | | | |
| 担当教員 | 通山 久仁子 | | | | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を理解したうえで、①ソーシャルワーカーとして求められる基礎的な能力、②ソーシャルワークの価値規範と倫理、③ソーシャルワークの展開過程において用いられる知識と技術について、実践的に学びます。本演習では、福祉分野の実務家教員が自らの実践経験を踏まえ、個別指導や集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導を行います。</p> | | | | | | | | | | |
| 授業形態 | 演習 | 授業方法 | ロールプレイ、グループワーク、プレゼンテーション | | | | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | | | | | | | | | | | |
| 標準的レベル | <ol style="list-style-type: none"> 自己覚知について、実践的に理解できる。 基本的なコミュニケーション技術について、実践的に理解できる。 基本的な面接技術について、実践的に理解できる。 ソーシャルワークの展開過程について、実践的に理解できる。 ソーシャルワークの記録について、実践的に理解できる。 グループダイナミクスの活用について、実践的に理解できる。 プレゼンテーション技術について、実践的に理解できる。 | | | | | | | | | | |
| 理想的レベル | <ol style="list-style-type: none"> 自己覚知について、実践的に理解し、習得できる。 基本的なコミュニケーション技術について、実践的に理解し、その技術を習得できる。 基本的な面接技術について、実践的に理解し、その技術を習得できる。 ソーシャルワークの展開過程について、実践的に理解し、その技術を習得できる。 ソーシャルワークの記録について、実践的に理解し、その技術を習得できる。 グループダイナミクスの活用について、実践的に理解し、その技術を習得できる。 プレゼンテーション技術について、実践的に理解し、その技術を習得できる。 | | | | | | | | | | |
| 評価方法・評価割合 | | | | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価割合(数値) | | | | 備考 | | | | | | |
| 試験 | | | | | | | | | | | |
| 小テスト | | | | | | | | | | | |
| レポート | 30% | | | | | | | | | | |
| 発表(口頭、プレゼンテーション) | 20% | | | | | | | | | | |
| レポート外の提出物 | | | | | | | | | | | |
| その他 | 50% | | | | | | | | | | |
| カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング | | | | | | | | | | | |
| DP1 | ○ | DP2 | ○ | DP3 | ○ | DP4 | ○ | DP5 | ○ | ナンバリング | WE21226J |
| 学習課題(予習・復習) | | | | | | | | | | 1回の学習目安(時間) | |
| 各回のふり返り、関連する内容の調べ学習 | | | | | | | | | | 1 | |
| 授業計画 | | | | | | | | | | | |
| 第1回 | オリエンテーション | | | | | | | | | | |

| | |
|-----------------------|--|
| | 本演習のねらい、内容、演習の方法、進め方について説明する。ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性について解説する。 |
| 第2回 | グループダイナミクスの活用 グループワークの構成（グループリーダー・コリーダー・グループメンバー）、グループワークの展開過程（準備期・開始期・作業期・終結期）について、実践的に学ぶ。 |
| 第3回 | ソーシャルワークの価値と視点 ソーシャルワーカーに求められる倫理について、実践的に学ぶ。 |
| 第4回 | 自己覚知 自己覚知とその意義について理解し、自己理解の方法について、実践的に学ぶ。 |
| 第5回 | 自己覚知 自己理解と他者理解の方法について、実践的に学ぶ。 |
| 第6回 | 基本的なコミュニケーション技術 非言語的コミュニケーション（表情、態度、身振り、位置取り等）について、実践的に学ぶ。 |
| 第7回 | 基本的なコミュニケーション技術 言語的コミュニケーション（質問、促し等）について、実践的に学ぶ。 |
| 第8回 | 基本的な面接技術 面接の構造化、場の設定（面接室、生活場面、自宅等）、ツールの活用（電話、e-mail等）について、実践的に学ぶ。 |
| 第9回 | 基本的な面接技術 基本的な応答技法（言い換え、感情の反射等）について、実践的に学ぶ。 |
| 第10回 | 基本的な面接技術 基本的な応答技法（繰り返し、要約等）について、実践的に学ぶ。 |
| 第11回 | ソーシャルワークの展開過程 ソーシャルワークの展開過程の全体像とワーカーの役割について、実践的に学ぶ。 |
| 第12回 | ソーシャルワークの展開過程 ケースの発見、インテークについて、実践的に学ぶ。 |
| 第13回 | ソーシャルワークの展開過程・ソーシャルワークの記録 アセスメントについて実践的に学ぶ。記録の意義、様式、方法について理解し、マッピングツールを用いた記録の作成について、実践的に学ぶ。 |
| 第14回 | ソーシャルワークの展開過程・プレゼンテーション技術 プランニング、支援の実施、モニタリングについて、実践的に学ぶ。個人プレゼンテーション、グループプレゼンテーションの方法について、実践的に学ぶ。 |
| 第15回 | ソーシャルワークの展開過程 支援の終結と事後評価、アフターケアについて実践的に学ぶ。 |
| テキスト | 担当教員がレジュメを配布し、参考図書等は適宜紹介します。 |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 担当教員が演習の中で適宜紹介します。必要に応じて視聴覚教材を用います。 |

| | |
|------------------|--|
| 課題に対するフィードバックの方法 | フィードバックの方法の詳細は、各教員が授業内で提示します。 |
| 学生へのメッセージ・コメント | <p>「福祉入門」や「ソーシャルワークの基盤と専門職」で学んだ福祉や援助技術に関する基本的な知識、「ヒューマンサービス基礎演習」で学んだコミュニケーション技術を、本演習で活用できるようにしてください。</p> <p>社会福祉の学びは、理論と実践の両輪が必要です。演習で学んだ内容を、ボランティア活動や「基礎実習」などの実践の場で活用してみてください。そして身につけた知識や技術を、「ソーシャルワーク実習」で活用できるようにしてください。</p> |

*ソーシャルワーク演習(通山)